

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医薬品副作用被害等判定調査事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和55年		担当課室	安全対策課		課長 俵木 登美子		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-8 医薬品等の品質確保、安全対策を徹底する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人医薬品医療機器総合機構法第17条第2項、第20条第2項において準用する第17条第2項		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人医薬品医療機器総合機構は、医薬品の副作用や生物由来製品を介した感染等による健康被害者に対して救済給付を行っているが、その支給の可否の決定に際し、医学的薬学的判定を要する事項を調査・審議する判定部会の運営に関連する業務を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づき、医学的薬学的事項について厚生労働大臣に対して判定の申出が行われる事例の、申請資料等の整理、検討等を行うとともに、副作用・感染等被害判定部会の判定結果を独立行政法人医薬品医療機器総合機構に対して通知すること等を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	3	3	3	3	2	
	執行額	2	2	1				
	執行率(%)	67%	67%	33%				
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度
副作用被害判定調査の回数		成果実績	回		4	5	5	6
		達成度	%		66.7%	83.3%	83.3%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	副作用被害判定調査の回数	活動実績 (当初見込み)	回		4	5	5	-
					6	6	6	6
単位当たりコスト	116千円/1回		算出根拠	副作用被害判定調査に関する支出額(580千円)/副作用被害判定調査回数(5回)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0.3	0.2	副作用被害判定に係る現地調査を行う職員数を見直したため				
	委員等旅費	0.3	0.2	副作用被害判定に係る現地調査を行う委員数を見直したため				
	庁費	2.1	1.7	前年度の事業実績を踏まえ、判定事務に係る庁費を見直し印刷製本費等を見直し				
	計	3	2					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	随意契約理由:少額随契のため
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>今後、給付申請件数の増加に伴い経費の増加も予想されるが、比較の見通しは立てやすいものと考えられ、現状に即した予算額の設定、予算内での計画的な執行ができるよう適宜見直しをするよう努めたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>医薬品副作用被害等判定調査事業について、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>前年度の事業実績を踏まえ、判定事務に係る庁費を見直したため印刷製本費等を削減することができた。 (反映額:▲0.5百万円)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

厚生労働省
1.2百万円
独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づき
行われる副作用、感染等の被害の判定を行うための
事務

C.事務費
0.5百万円
職員旅費、備品等

【随意契約】

A.(株)メディア総合研究所
0.5百万円
副作用・感染等被害判定
に関する会議の資料を作
成における翻訳利用料

【随意契約】

B.扶桑速記印刷(株)
0.2百万円
副作用・感染等被害判定
に関する会議の速記利用
料

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.(株)メディア総合研究所			C.事務費		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	副作用・感染等被害判定に関する会議の資料を作成における翻訳利用料	0.5	職員旅費	副作用被害救済判定の旅費	0.4
				備品	事務用品(パンチ替刃、シャチハタ印等)	0.1
	計		0.5	計		0.5
	B.扶桑速記印刷(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
外部委託	副作用・感染等被害判定に関する会議等の議事録を作成のため	0.2				
計		0.2	計		0	

支出先上位10者リスト

A.(株)メディア総合研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)メディア総合研究所	翻訳(英語→日本語)3. 3. 2. Exposure to Mercury ~	0.3	随意契約	
2	(株)メディア総合研究所	翻訳(英語→日本語)DENTALS MATERIALS AND~ 外1件	0.2	随意契約	

B.扶桑速記印刷(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	扶桑速記印刷(株)	副作用・感染等被害判定に関する会議等の議事録を作成のため	0.2	随意契約	

C.事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員A	副作用被害救済判定の旅費	0.09		
2	職員B	副作用被害救済判定の旅費	0.09		
3	職員C	副作用被害救済判定の旅費	0.08		
4	JTB首都圏 虎ノ門支店	副作用被害救済判定の旅費(パック旅費支払)	0.07		
5	職員D	副作用被害救済判定の旅費	0.05		
6	(福祉)友愛十字書房	書籍	0.05		
7	(株)三陽堂	事務用品(強力パンチ)	0.05		
8	(株)三陽堂	事務用品(強力パンチ カール)	0.05		
9	(有)弘雅堂	シャチハタ印	0.003		
10	(福祉)友愛十字書房	書籍	0.003		